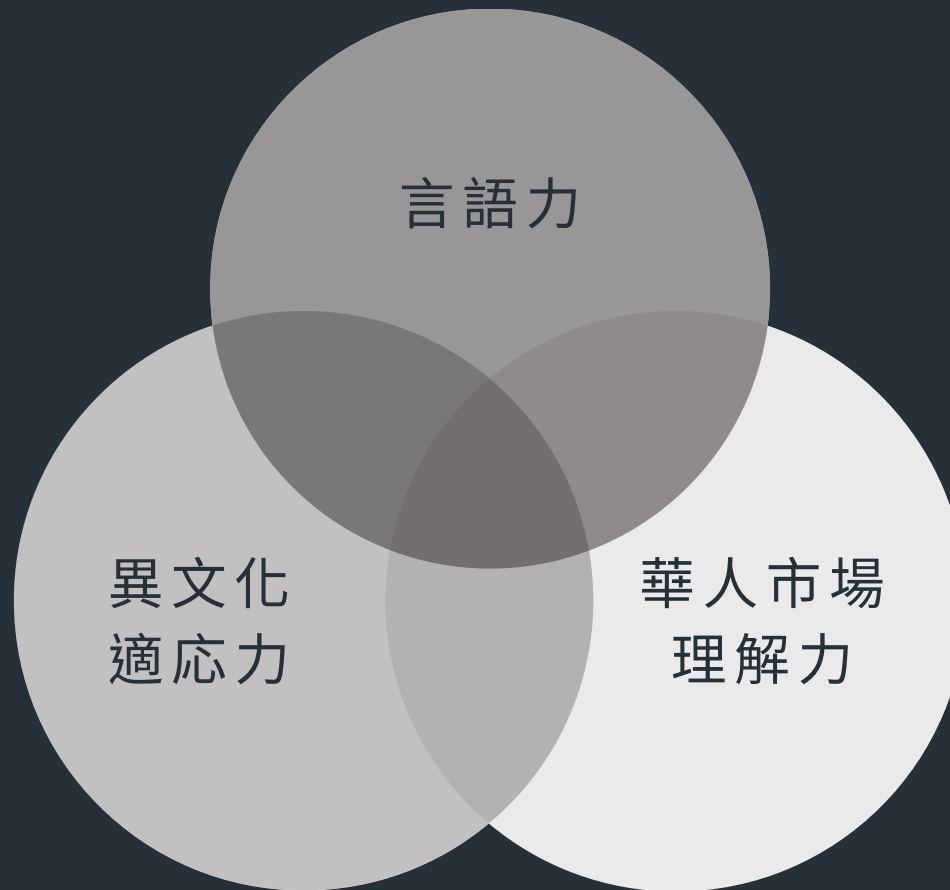


沖縄の未来を創るのは、
人です。

これからの企業成長に必要なのは、
新しい視点と世界とのつながりを
持つ人材です。

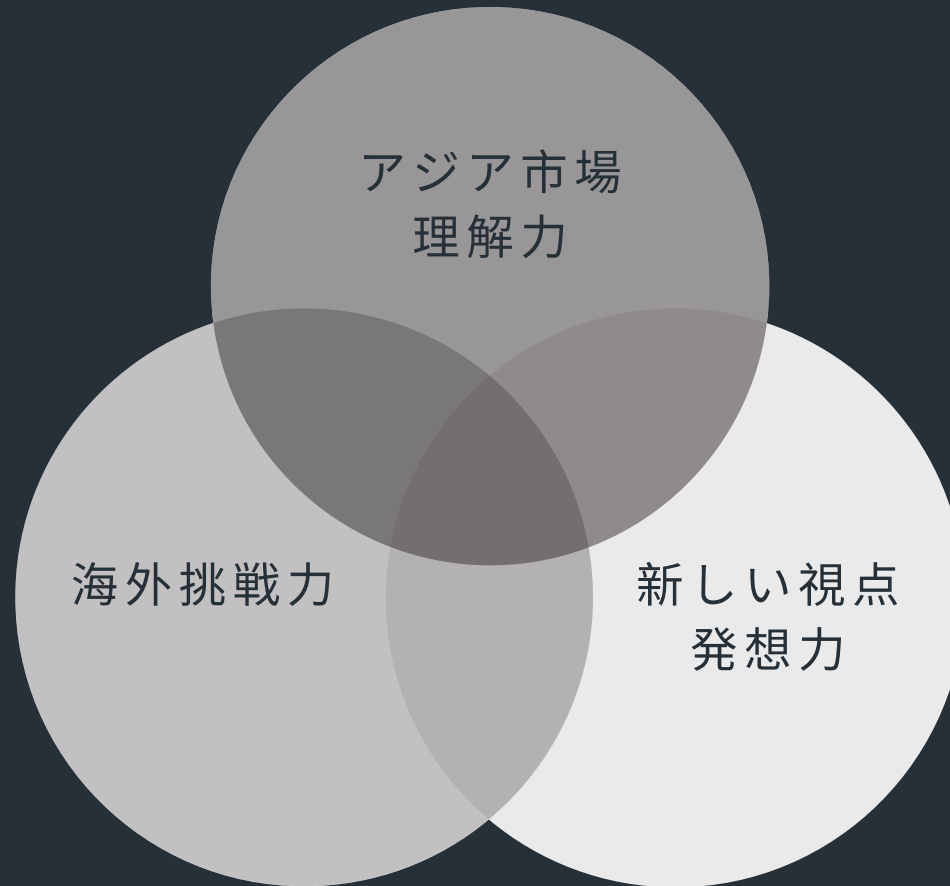
台湾で学ぶ若者たちは、
沖縄とアジアをつなぐ可能性を
秘めています。

台湾留学経験を持つ日本人学生の強み



台湾での学習・生活経験を通じて、語学力だけでなく、異文化環境への適応力と華人市場への理解を身につけています。

台湾人材が日本企業にもたらす価値



台湾人材は、アジア市場への理解力、海外環境へ挑戦する行動力、多様な視点から生まれる発想力を通じて、日本企業の成長と国際展開に貢献します。

未来の人材と、
沖縄企業をつなぐ第一歩

台湾で学ぶ日本人留学生、
日本就職を目指す台湾人学生と
沖縄企業を直接つなぐ場。



沖縄就職フェア

※イベント名は仮称です

日本台湾教育センター

日本台湾教育センターは、
台湾教育部（日本の文部科学省に相当）が
設立した機関で、
台湾の高等教育の魅力発信
および日台間の教育交流を推進しています。

日本台湾教育センターの これまでの取り組み

台湾で学ぶ日本人留学生を対象に、台湾留学後の進路やキャリア形成に関する台湾就職支援セミナーを継続的に開催しています。

台湾での学びを活かし、卒業後の進路選択や将来の可能性を広げるための情報提供・支援を行っています。



先着100名 日本人限定！

台日新卒キャリア 攻略セミナー

～台湾就職の最新トレンドと必勝対策～

日時 2025年11月01日 土
会場 13:30 ▶ 16:30

講師 清高珠美
(パソナ台湾)

淡江大学台北キャンパスD207会議室
(台北市大安区金華街199巷5号MRT東門駅5番出口)

講座内容

- 台湾就職市場の最新動向：業界別採用ニーズ、給与水準、人気企業ランキング
- 日台就活の違いと注意点：エントリー時期、応募書類、選考プロセスの違い
- 書類、面接突破のコツ：日本語・中国語面接でよく聞かれる質問と回答例
- ビザ・労働法の基礎知識：就労ビザ取得の流れ、労働条件の確認ポイント
- キャリア設計ワークショップ：自己分析、将来のキャリアパスの描き方
- 先輩体談：台湾で活躍する日本人若手社員のリアルな声

お申込み・お問合せ

お問い合わせ：tecjapan@mail2.tku.edu.tw 10/30 15:00まで

主催：日本台湾教育センター
協力：Pasona Taiwan Co., Ltd.
日本台湾教育センターWebsite:
<https://tecj.tku.edu.tw/jp/>

お申込はこちら

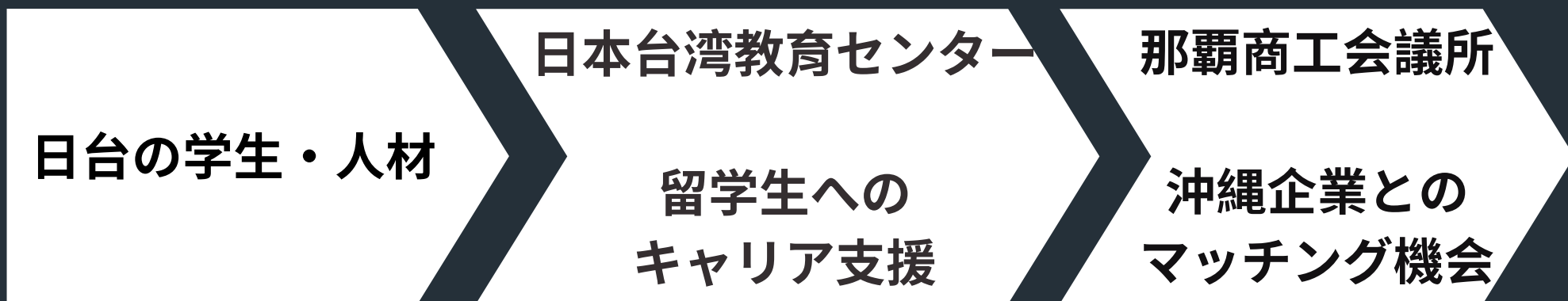


過去台湾就職支援セミナーの 開催実績と参加者傾向

開催期間：2021～2025年

対象：台湾留学中の日本人学生を中心に実施
年間平均100名以上の学生が参加

三者の連携による沖縄の人材確保への取り組み



那覇商工会議所、沖縄企業、日本台湾教育センターが連携することで、台湾で学ぶ日本人留学生や台湾人材と沖縄企業をつなぐ新たな就職機会を創出します。

既存の就職支援を活用した新たな人材 接点の創出



那覇商工会議所、沖縄企業、日本台湾教育センターが連携することで、台湾で学ぶ日本人留学生や台湾人材と沖縄企業をつなぐ新たな就職機会を創出します。

参加予定人数（推計）

国籍	参加人数	比率
日本	135~180	90%
台湾	15~20	10%
合計	150~200	100%

推計根拠：

- 過去に実施した台湾就職支援関連イベントでは、年間平均約100名の参加実績があります。
- 今回は、従来の就職支援セミナーに加え、日本就職支援セミナーおよび沖縄企業とのマッチング機会を新たに設けることで、学生への提供価値を高めます。
- また、オンライン参加を導入することで、遠方に在住する学生や現地参加が難しい学生も参加しやすくなり、参加者層の拡大を見込み、約150~200名の参加を想定しています。

過去台湾就職支援セミナーの開催 実績と参加者傾向

国籍構成：

国籍	比率
日本	99%
台湾	1%

台湾留学中の日本人学生を中心とした参加構成。
出身都道府県は未調査のため、沖縄県出身者の割合は不明。

過去台湾就職支援セミナーの 開催実績と参加者傾向

所属大学区分：

大学区分	比率
国立大学	約35%
私立大学・その他	約65%

過去台湾就職支援セミナーの 開催実績と参加者傾向

所属大学所在地：

所属大学所在地	比率
台北市	47%
その他（台北市以外）	53%
合計	100%

台北市の大学を中心としながら、台湾各地の大学から幅広く参加。

過去台湾就職支援セミナーの 開催実績と参加者傾向

参加者の学年：

学年	比率
大学1年生	18%
大学2年生	22%
大学3年生	28%
大学4年生	24%
修士・就活中	8%
合計	100%

就職活動を意識する大学3・4年生が全体の約半数を占め、就職に向けた情報収集ニーズの高い学生が参加。

過去台湾就職支援セミナーの 開催実績と参加者傾向

参加者の専攻分野：

分野	内容例	比率
人文・語学系	外国語、日本語、英語、文学、翻訳、華語等	27%
社会科学・国際系	国際関係、政治、社会、教育、法律等	14%
経営・商学系	経営、国際企業、商学、マーケティング、会計等	25%
観光・サービス系	観光、ホテル、航空、餐旅等	9%
情報・理工系	情報、電機、工学、化学、生命科学等	12%
その他	芸術、デザイン、健康、農業等	13%

文系分野を中心に、語学・国際・経営分野など、沖縄企業の海外展開や国際業務に活かせる人材が幅広く参加。

学生の就職活動の特徴

台湾留学中の日本人学生：

就職を希望	比率
日本での就職	60%
台湾での就職	30%
第三国での就職	10%
合計	100%

※過去留学生へのヒアリングによる参考傾向であり、アンケートによる統計データではありません。

学生の就職活動の特徴

台湾留学中の日本人学生：

方向	比率
日本での就職希望	56%
台湾での就職希望	12%
海外就職希望	14%
こだわらない	18%

回答者の半数以上が日本での就職を希望しており、そのうち約半数は地元以外の地域での就職も選択肢として考えています。ヒアリング結果と同様、日本での就職希望が最も高い傾向が確認された。

※台湾在学日本人材・台湾人学生の就職意向に関するアンケート調査

※台湾在学日本人材・台湾人学生の就職意向に関するアンケート調査

対象：台湾で学ぶ日本人材および台湾人学生

有効回答数：計77件

手法：学生間のネットワークを通じたアンケート調査

【注記】

本アンケート調査は学生間のネットワークを通じて回収されたものです。そのため、一部のデータや数値は全体の母集団の正確な割合を完全に反映しているわけではないことを、あらかじめご承知おきください。

日本人留学生の就職意向

(アンケート調査結果)

沖縄での就職・転職を検討したことがありますか？

方向	比率
強く検討している・ 選択肢の一つとして考えている	50%
あまり考えたことがない 全く考えたことがない	50%

回答者の半数が、沖縄での就職を「検討している」または「選択肢の一つ」として考えており、沖縄は日本人留学生にとって一定の就職先候補となっています。

※本調査は66名の在台日本人学生を対象とした参考アンケートであり、無作為抽出ではありません。

日本での就職を
希望する台湾留学経験者に対し、
沖縄企業が接点を持つ機会を
創出することが重要。

就職・転職時に求める最低希望年収

最低限の年収	比例
～199万円	1.30%
200～299万円	20.80%
300～399万円	37.70%
400～499万円	14.30%
500～599万円	15.60%
600～699万円	5.20%
700～799万円	5.20%
合計	100%

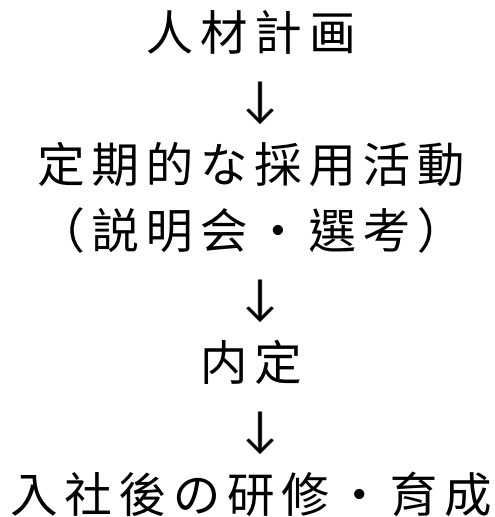
回答者の58.5%が、最低希望年収として
「200～399万円」を選択しました。

日本・台湾企業の採用スタイルの違い

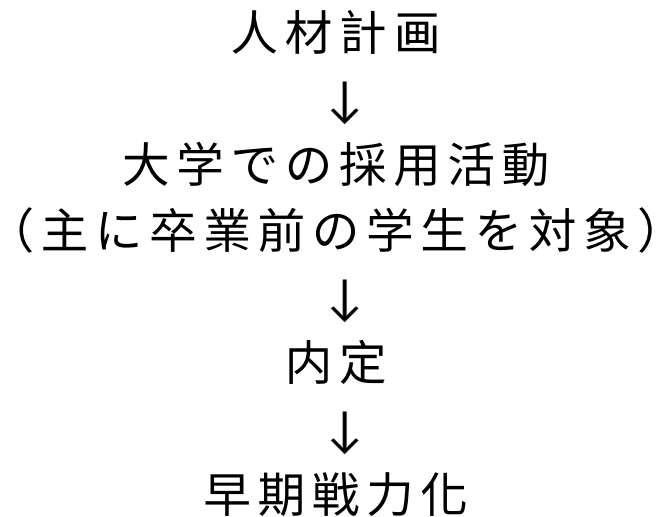
項目	日本型就職活動	台湾型就職活動	
		大型企業など（ITなど）	その他企業
採用方式	新卒一括採用が中心	計画的な新卒採用を実施	欠員・事業拡大に応じた採用が中心
採用時期	毎年一定のスケジュールで実施	毎年3月頃から大学（特に国立大学・上位大学）で採用活動を実施	求人発生時に随時募集
学生の活動開始時期	大学3年後半頃から準備開始	大学4年生（卒業前）から活動	卒業直前～卒業後に就職活動を開始する学生が多い
主な採用対象	新卒学生を一括で採用	優秀な学生を早期から獲得	必要な人材を必要な時期に採用
企業との接点	説明会・インターン・選考を通じて早期形成	大学説明会・キャンパスリクルーティング	求人サイト・紹介・直接応募など

日台企業の採用活動の特徴

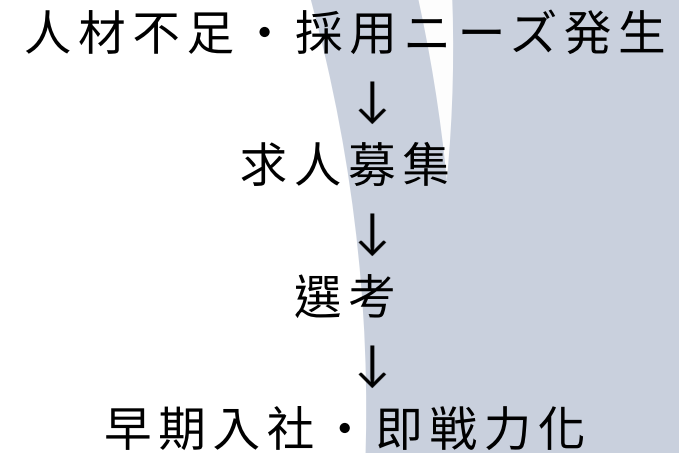
日本企業（新卒採用）



台湾大型企業（ITなど）



台湾その他企業



日台企業の採用活動の特徴

台湾留学中の日本人学生は、
日本企業への就職を希望する場合、
日本型の新卒採用スケジュールに
合わせて活動する必要があります。

日本就職を目指す学生の就職活動時期

時期	日本企業の就職活動	日本の大学在籍者（日本国内学生）の学年	台湾の大学在籍者の学年	
			一般型	早期準備型
3月頃	企業説明会・エントリー開始	大学3年生（学年末）	大学4年生（後期）	大学3年生（後期）
4月～6月頃	ES提出・筆記試験・面接・内々定	大学4年生（前期）	大学4年生（後期）～卒業	大学3年生（後期）
10月頃	内定式	大学4年生（後期）	-	大学4年生（前期）
翌年4月	入社・新入社員研修	入社	入社	大学4年生（後期）※台湾の大学は6月卒業のため、企業により入社時期調整

台湾の大学在籍学生に対する選考方法（日本企業の事例）

台湾留学中でも、日本企業の就職活動スケジュールに合わせた選考参加が可能

選考形式	実施例
オンライン面接	台湾滞在中に参加可能な選考方法。日本企業でも活用されている。
対面面接	日本国内で実施する形式。企業によっては渡航費・宿泊費等を支援するケースもある。

台湾の大学に在籍している学生であっても、日本企業の選考へ参加することは可能です。

日本企業では、オンライン面接の活用や、必要に応じた対面面接の実施など、柔軟な選考対応が行われています。

沖縄就職フェア 開催時期の検討

沖縄就職フェア開催候補時期	日本企業の一般的な採用活動状況	台湾の大学在籍学生の就職活動状況	開催時期の評価	対象学生の学年
9月		新学期開始直後	△	
12月19日		就職意識が高まり、日本就職を考える学生への情報提供に適した時期	◎ 第一候補	大学4年生前期・大学3年生前期
1月		期末試験・冬休み期間（沖縄での面接可能）	△	
2月		春休み期間（沖縄での面接可能）	△	
3月	企業説明会・エントリー開始	新年度準備期間	○	
4月上旬	ES提出・筆記試験・面接開始	新学期開始後、授業が安定	○ 代替案	大学4年生後期・大学3年生後期
4月中旬～5月初旬	選考継続	期中試験期間	×	
5月～6月	面接・内々定	学期後半・卒業準備	△	
7月～8月	内定者フォロー・追加採用等	夏休み期間	△	

沖縄就職フェアの段階的な展開イメージ

段階	活動目的	推奨する実施方法
初年度（第1年）	沖縄就職に対する認知度向上、沖縄企業の魅力発信	12月に企業説明会を開催。即時採用を目的とするのではなく、沖縄の産業・企業・キャリア機会を学生に知ってもらい、早期から企業と学生の接点を形成する。
第2年以降	イベント認知度の向上、採用活動の効率化	学生の間で沖縄就職への認知が形成された後は、4月開催とし、企業説明会と面談・選考を組み合わせる形式も検討可能。

日本人留学生の約半数は沖縄での就職を選択肢として認識している一方、残りの半数はまだ沖縄就職を具体的な選択肢として捉えていない。沖縄企業が台湾留学生を採用するためには、日本本土企業との人材獲得競争を意識する必要がある。そのため、初年度は選考以前の段階で情報発信を行い、沖縄を就職先の選択肢として認識してもらうことが重要である。

募集スケジュール（12月19日開催の場合）

時期	内容
7月～8月	台湾大学の夏休み期間。帰省・旅行等で学生の就職意識が比較的低い時期
9月	台湾大学の新学期開始
10月20日～12月19日	進路・就職について考え始める学生が増えるため、広報・募集開始時期として適している。学生への広報活動、事前参加登録受付
12月6日（日）	事前参加登録締切（事前登録者の情報は企業へ共有可能）
12月7日～18日	事前登録学生リスト整理、企業共有、当日運営準備
12月19日（土）	沖縄就職フェア開催（企業説明会）※当日参加も可能

学生の参加機会を広げるため、事前登録制を基本としながら、当日参加も受け付ける形式を想定。

沖縄就職フェアの広報・学生募集方法

広報チャネル	活用方法
日本台湾教育センター	教育部関連機関として、台湾各大学へ情報発信を行い、大学を通じた学生への周知が可能
日本人学生会・大学国際関連部署	日本台湾教育センターや各大学の国際部署を通じて、日本人留学生へ直接案内
台湾大学の日文系学科・関連部署	日本語能力を有する台湾人学生へ情報発信。各大学の日文系学科、キャリアセンター等を通じた周知を検討
台湾在住日本人コミュニティ	県人会など、台湾在住日本人・学生が参加する団体を通じた情報発信
SNS・学生向け発信	Meta/Threads/Google 等を活用し、台湾留学生・日本語学習者向けに情報発信。在台日本人留学生インフルエンサー等との連携も検討

台湾在籍の日本人留学生および日本語能力を有する台湾人学生へ幅広く情報を届けるため、大学・学生団体・在台湾日本人コミュニティ・SNS等を活用した多方面からの広報を実施する。

特に初年度は、沖縄就職に対する認知度向上を目的とし、早い段階から学生との接点形成を図る。

沖縄就職フェア 当日プログラム

台湾全土の学生が参加できるイベントを目指します。

時間	内容	備考
12:45～13:00	受付・入室	メインルーム
13:00～13:15	開会挨拶・イベント説明	メインルーム
13:15～14:10	日本就職セミナー	メインルーム
14:10～16:50	企業ブース交流・企業説明	メインルーム+10企業の Breakout Room
16:50～17:00	閉会挨拶・今後の案内	メインルーム

海外人材採用における沖縄就職フェアの優位性

比較項目	沖縄県内の一般求人プラットフォーム	沖縄就職フェア
主な接触対象	県内の幅広い求職者が対象。海外経験者へ直接届くとは限らない	海外経験者に特化したターゲット設定 (台湾留学中の日本人学生、日本就職希望の台湾人学生など)
情報発信チャネルの特徴	媒体の信頼性・利用者層・適合性を判断して選択	日本台湾教育センターと 連携した教育ネットワークを活用
企業と人材の接点	求人情報を掲載し、応募を待つ形式	求人情報発信 + 企業説明・学生との直接交流
費用目安 (8週間)	約10万～30万円程度	

本イベントで提供する採用支援内容と価値

内容	実施内容	一般的な費用目安
デジタル広告	Meta / Threads / Google広告表示回数： 約8万～12万回 リーチ数：約4万～8万人 クリック数：約500～1,000件	約12万円～18万円
オンライン 交流会	約160分の企業・学生交流機会（Zoom運営・ 進行管理、企業向け参加サポート含む）	約8万円～15万円
大学キャンパス 内での告知	ポスター制作・印刷・約25大学への掲示	約8万円～12万円
台湾の大学への 情報発信	約25大学を通じた案内・募集告知	一般的な広告では構築できない 大学ネットワーク
企画・調整・ 全体運営	大学・企業・学生間の連絡調整、資料作成等	約15万円～25万円
合計（参考）		約43万円～70万円相当 ＋大学ネットワーク

本イベントで提供する採用支援内容と価値

内容	実施内容	一般的な費用目安
デジタル広告	Meta / Threads / Google広告表示回数： 約8万～12万回 リーチ数：約4万～8万人 クリック数：約500～1,000件	約12万円～18万円
オンライン 交流会	約160分の企業・学生交流会（Zoom運営・ 進行管理、企業向け会費）	約8万円～15万円
大学キャンパス 内での告知	ポスター制作	約8万円～12万円
台湾の大学への 情報発信	約25大学	一般的な広告では構築できない 大学ネットワーク
企画・調整・ 全体運営	大学・企業・学生等	約15万円～25万円
合計（参考）		約43万円～70万円相当 ＋大学ネットワーク

参加費13万円

沖縄就職フェア 参加プラン

企業参加申込締切：8月21日（金）予定

参加費：13万円

イベント広報物への企業名・ロゴ掲載
台湾の学生への幅広い情報発信・アプローチ
学生との直接交流の機会提供

語学能力基準（参考資料）

一般能力	中国語・英語 能力基準	日本語能力基準	運用能力の目安
熟達レベル	C2	N1以上相当	高度な専門内容を理解し、複雑な議論・交渉・プレゼンテーションが可能
上級レベル	C1	N1相当	職場での会議、報告、専門的なコミュニケーションに対応可能
中上級レベル	B2	N2～N1相当	一般的な業務上の会話や文書理解が可能。職場での意思疎通が可能
中級レベル	B1	N3～N2相当	日常会話や基本的な業務コミュニケーションが可能
初級レベル	A2	N4～N3相当	基本的な表現を理解し、簡単な日常会話が可能
入門レベル	A1	N5～N4相当	基本的な単語や表現を使った初歩的なコミュニケーションが可能

台湾の大学に在籍する留学生については、正規の4年制大学に在籍していることから、一定以上の中国語学習経験や語学学習への関心を有している学生が多いと考えられます。人材募集においては、対象学生全体の語学能力を推測・分析するよりも、本資料のような語学能力基準表を参考として、企業ごとに必要な条件を設定していただくことが重要です。職種や業務内容に応じた語学条件を明確にすることで、企業の求める条件に合った学生との、より効果的なマッチングが可能になります。